



週報

■12月は、『疾病予防と治療月間』

第1504回例会 2017年12月14日 Vol.32/No.22

■本日の例会／第1505回 平成29年12月21日(木)

- 会長・幹事報告
 - 各委員会報告・各委員長
- 例会終了後 年末家族懇親会 夜間例会
ワールドコンベンションセンター サミット2階

【出席率状況報告】

- ・会員数……………54名
- ・出席者……………28名
- ・欠席者……………26名
- ・出席率……………53.85%
- ・11/30の修正出席率・73.58%

■会長挨拶



田中 寿 会長

最近スーパーなどで売られているお米が2・3割高くなっているのにお気づきでしょうか?来年から減反政策が廃止されることで、補助金の大きい加工用米の栽培に転向する農家が多く食用米が不足しているのが原因だそうです。政府はコメの輸入を検討していると言われていますが、ある時オーストラリアが米作りに力を入れているという事で、オーストラリアのリートンというコメ作りの盛んな地域へ視察に行った時のことです。飛行機で約1時間ほど飛んで近くの空港ナランゲラリートンからチャーターバスで40・50分走った記憶がある、このリートンの米組合のオフィスに行った際にまず目に入ったのが、オフィスの壁に貼ってある写真や年表の至る所に、日本人の名前が出ていたことです。米作組合の方に説明を受けるとルーツは日本人だと言う……驚きだったよくよく聞いてみると、1905年に松山出身の方で、高須 譲という方が移住してこられて米を栽培するようになったという事でした、かれこれ100年以上も前に、日本人が中粒のであるジャポニカ種を栽培していたという事でした農場を視察すると、とにかく規模の大きいこと広いことに驚愕しました。種まきは飛行機で、時には水も飛行機で行われます、広大な農作地帯が広がっている日本では考えられない広さが一つの農園だというスノーウイマウンティン山脈の裾野に広がる穀倉地帯だった、人口1万1000人位の小さな町だ……外国の米

と言うと、粒の長いコメを想像するのが一般的だろう、あのカリフォルニア米に代表される、長粒米だ、しかし驚きだったのは、ここで作られていたのは日本のコメと同じ中粒米だった、聞いてみるとササニシキとコシヒカリが大部分だったてっきりオーストラリア人がはじめた事だと勝手に思い込んでいた我々がいたのだが今ではここまで広大な田んぼになって広がっている、生産量は1000万トンを超えていると説明を受けた。組合の人が言うには、肉も作っているが日本に輸出しても消費量自体たかが知れている。それより、私たちはアジアを見据えて米を作り続けるんだと言う事だった、アジア人の特に日本の肉の消費量より、コメのマーケットは桁が違うと言う事を良く理解していた日本人が始めた米作りが、今TPPの交渉が開始されていますが日本の農家を脅かす事態がすぐ間近にきているのは確かだろうと感じる昨今です。

■幹事報告

・2730地区職業奉仕研修会の案内が届いております。

30年1月20日(土)メインホテルナカムラ
12時30分～14時30分

地区職業倫理(4つのテスト) 福永健一 様の講話を頂きます。

・バギオ基金の寄付のお願いが届いております。

・公益財団法人米山梅吉記念館への支援についての案内が届いております。

米山梅吉誕生150周年を迎えるために会員一人100円の分担のお願い

後期人頭分担金の増額をお願いいたします。

・「カルフォルニア州山火事災害」被害支援についてのお願いが来ております。

会員様一人1,000円程度の義捐金の協力をお願いいたします。

■委員会報告

ローターアクト委員会



渡邊 勝 委員長

12月13日(水)、第1回「宮崎中央ローターアクトクラブ例会」を、ギャラリー陶花(宮崎市船塚)にて開催しました。

ローターアクトの山元史穂さん、藤村未歩さん、宮崎中央ロータリークラブより、田中会長、黒木雄一会員、押川会員、長友春雄会員、井上会員、篠原会員、西橋会員、小川会員、小村会員、渡邊会員、計12名と、多くの御参加をいただき、ありがとうございました。

今後、月に1回のペースで例会を開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

尚、ローターアクトの参加メンバーを募集しております。

ご協力のほど、重ねてお願いいたします。



■会員卓話

田島直也 会員



一核兵器廃絶に関心を!!

北朝鮮が核兵器を保有し、アメリカとの緊張が高まる中、今年度のノーベル平和賞は12月10日、核兵器廃絶運動団体のIcanが受章した。

唯一の核兵器被爆国の日本は、全世界に核兵器廃絶を訴える必要があると思われる。

昭和20年8月9日午前11時2分、アメリカ軍は長崎市に人類史上実戦で使用された広島市の8月6日に次いで2番目の核兵器(コードネーム:ファットマン)を投下した。

今年は投下されて72年目である。被爆者は高齢化し、いわゆる“語り部”の人達も少なくなり、次第に風化されているのが現状である。今年の卓話で日高海雄さんは戦時中の体験談を話された。私は原爆投下の当時長崎にいたが、投下された時のことを少しお話しします。

私は昭和20年8月当時、国民学校2年生で4月から本籍地がある旧古賀村(現長崎市)にいた。8月9日は学校登校日であった。教室に集まっていると突然、黄色い閃光と共に激しい爆音が響き、先生から「机の下に隠れる!!」との指示があった。空は一面暗く黄砂のようであった。自宅に帰ると家屋の一部は倒壊し、しばらくすると空から無数のチリ、新聞紙、紙幣の形を残したままのものが降ってきた。いわゆる死の灰であったと思われる。その時のキノコ雲は原爆の象徴として記録されることになった。古賀村は長崎と諫早との間に位置していたが、数時間後から長崎から諫早に向かう道は多くの全身火傷の人、四肢の怪我の人、歩行困難な人達の列がとめどもなく続いた。「水をくれ、水をくれ」と言い、水を飲むとそのまま倒れ込む人も多くいた。母達は出来る範囲のもので炊き出しをし、私も飲料水の運搬を手伝った。子供ながら初めてみる戦争の悲惨な状態であった。

当時、長崎は焼け野原になり、今後草木も生

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明

えないだろうと言われた。

私の母校となる長崎医大はほぼ全滅し、生き残っても後日白血病で苦しむ人が多かった。“この子を残して”の永井隆博士もその1人である。

当時長崎市の人口は24万人、そのうち7万4千人が死亡、建物は36%が全焼又は半焼された。その後白血病等の死者を加えると約15万人が死亡している。この時の原爆はプルトニウム239 (22Kt) が使用され、広島に投下されたウラン235 (15Kt) より大型であった。ちなみに、北朝鮮は160Ktを保有していると報道されている。しかし長崎は周囲は山で囲まれ、熱線や爆風が遮断され広島より被爆は軽減されたといわれている。

現在、核拡散防止条約では5カ国が承認(米英仏中) されているが、インド、パキスタン、イスラエル、北朝鮮の保有がほぼ確実であり、実際全世界に15000個の核兵器があるといわれている。核兵器禁止条約は本年7月に100カ国以上の賛成で成立し、その後50カ国余りが批准したと報告されている。しかし、日本は1994年から主導している核兵器廃絶決議案は2017年10月27日の国連では賛成が多かったものも例年より減少し棄権が増加している。

日本は核兵器の原料となるプルトニウムを47K保有しすぐにでも核保有になりうるといわれているが、今後、残念ながら米国の核の傘の下といわれる日本がどういう態度をとるか世界が注視している。

長崎大には核兵器廃絶研究センターが立ち上げられたが、永年長崎で核兵器反対運動の先頭に立ち、私もよく存じあげていた土山秀夫学長は今年死去された。又現在国際会議にも出席し活躍されている元長崎大朝長万佐男教授は私のバスケット部の後輩でもある。

広島・長崎では被爆者が高齢化し、当時のことを語る人は少なくなっているのが現状である。

又、同じ日本でも、核兵器廃絶に無関心の人が多くなっているのではないかとと思われる。

今後若い世代にぜひ広島・長崎の歴史を伝え、核兵器が使用されない平和な世界が達成されることを望むものである。

出席委員会報告

長友久人 委員

◆11/30メイクアップ者名 (敬称略)

片木重光、黒木陽子、秦喜八郎、湯浅敏幸

■誕生祝い (敬称略)



秦 喜八郎、鳥山 浩、松山春喜、井上真由美、渡邊 勝

ハッピーボックス (敬称略)

●井上真由美…誕生日プレゼントをありがとうございました。頭の中も外見もこれ以上老いるのが怖い今日今頃です。頑張ります。

◆ビジター



福田香津代 様 (宮崎北RC)